

MITSUBISHI

三菱電機 **産業用** ロボット

MELFAテクニカルニュース

BFP-A6079-0052

2012年6月発行

表 題 RT ToolBox2 Ver. 2.11M以前をご使用のお客様への注意事項

適用機種 Fシリーズ、SQシリーズ、SDシリーズ、Sシリーズ
(コントローラ CR750/CRnQ-700/CRnD-700/CRn-500シリーズ用)

三菱電機産業用ロボットMELFAに格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。
本テクニカルニュースでは、現在リリースされている「RT ToolBox2 Ver.2.14Q」(形名:3D-11C-WINJ(E)/
3D-12C-WINJ(E))への早期移行についてご説明します。

RT ToolBox2 Ver.1.1～2.11MをWindows VISTA以降でご使用の際、下記の現象が発生する場合があります。
VISTA以降のOSを使用のお客様は、Ver.2.14Q以降へバージョンアップ願います。

1. 対象

対象Ver. : RT ToolBox2 Ver.1.1～2.11M
使用環境: Windows VISTA以降のOSを使用
発生条件: イーサネットによる接続時にバックアップを実施

2. 発生現象

Windows VISTA以降では、通信のキャッシュ機能が初期状態から有効になっており、コントローラから
イーサネットを使用してバックアップすると、最新のバックアップデータではなく、前回バックアップした
データが取得されることがあります。
※詳細内容については、補足資料を確認願います。

3. 対策

Ver.2.14Q以降では、通信キャッシュ機能を無効にして通信しています。
三菱電機FAサイト(URL:<http://www.mitsubishielectric.co.jp/fa/products/rbt/robot/index.html>)
FAトップ>製品情報>産業用ロボット>産業用ロボット MELFA>設計支援ツール・データ
より最新版のRT ToolBox2をダウンロードしていただき、アップデートしてください。

なお、すぐにバージョンアップ出来ない場合は、以下の手順で、通信キャッシュ機能を無効にしてください。

- (1) インターネットエクスプローラを起動します。
- (2) 以下のように設定を変更します。
[ツール]→[インターネット オプション]→全般[閲覧の履歴]設定→[Webサイトを表示するたびに確認する]

4. 変更時期

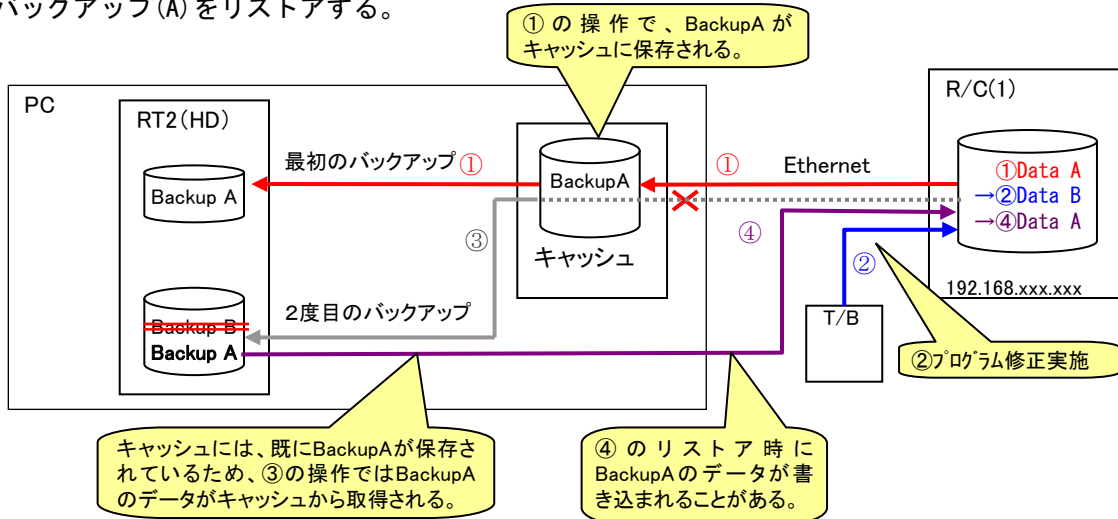
日本語版/英語版 : 現在リリース中 (Ver. 2.14Q)
簡体字版 : 2012年6月リリース予定 (Ver. 2.14Q)
繁体字版/韓国語版 : 2012年7月リリース予定 (Ver. 2.21X)

補足資料

本現象は特定の条件下において、以下の手順を実行すると発生することがあります。

<ロボット1台の場合>

- ①バックアップ(A)する。
- ②T/Bにて、ロボットプログラム変更する。
- ③バックアップ(B)する。
※①～③により、バックアップ(B)がバックアップ(A)と同じになることがある。
※③の前にRT ToolBox2を再起動すれば上記現象は発生しない。
- ④バックアップ(A)をリストアする。



キャッシュとは

使用頻度の高いデータを高速な記憶装置に保存しておくことで、低速な装置からの読み込みを省略し、効率化する仕組みのこと。キャッシュには有効期限があり、Windows VISTA以降では「自動的に確認する」となっており、無効になるタイミングはシステムにより不定。

<ロボット複数台の場合>

- ①ロボット1とロボット2に同じIPアドレスを設定する。
- ②ロボット1からバックアップ(1)する。
- ③イーサネットコネクタをロボット1からロボット2に差し替える。
- ④ロボット2からバックアップ(2)する。
※バックアップ(2)がバックアップ(1)と同じになることがある。
※④の前にRT ToolBox2を再起動すれば上記現象は発生しない。
- ⑤バックアップ(1)をリストアする。

